

公立千歳科学技術大学紀要の創刊にあたって

公立千歳科学技術大学

学長 川瀬 正明

1998年に千歳市が出資し、大学法人が運営する公設民営の大学として千歳科学技術大学が開学しました。その後の20年余の中で、取り巻く社会環境や科学技術の進展・変化に伴い、その組織やカバーする分野の見直しを行って参りましたが、2019年4月に公立大学法人が運営する公立千歳科学技術大学として再スタートしました。

大学の理念には「理工学分野をはじめとする幅広い教育と研究を通して、高い知性とすぐれた人格を有する人材の育成」と「地域との共生を通して、社会とともに発展する大学」を掲げ、公立大学として地域の「知の拠点」「人材の拠点」「地域・社会貢献の拠点」となることを目指すとともに、大学の基本である教育改革や研究活動の活性化を最初の中期計画の要諦に据えています。

これまで、大学の活動報告として「千歳科学技術大学年報」と「千歳科学技術大学フォトンクス研究所紀要」を発行して参りましたが、公立化を機に「大学年報」と「大学紀要」に再編成し、年報では大学の概況と諸活動データを主とし、大学全体の教育・研究・地域活動の内容をレポートする場として紀要を位置づけることとしました。

本紀要は新たな位置づけにおける第一号であり、今後公立千歳科学技術大学の発展とともに広く本学教職員の活動を発信する場としての充実を意図しておりますので、忌憚のないご意見ご助言をいただければ幸いです。